

卒業研究	教授 谷崎 敏昭
------	----------

1. テーマ

情報化の進展と資本主義社会の変貌

2. ゼミのねらい・概要

大学における学問の中心はゼミナールである。そこでは教師、および学生同士が学問を通じて相互に信頼し合うことで成り立っている。ゼミは学問をするだけの場ではなく、学問を中心として、ここで培われる人間関係をエネルギーに、自分の人生の進むべき方向を見出すことに意味がある。

今年度のゼミは、卒業論文を作成しながら、資本主義の進展が格差を生み、社会が不安定なものになってきたことを取り上げ、資本主義や民主主義の有効性について考察する。同時に人工知能や IoT の急速な発展や、情報化がもたらす変革によって変わりゆく社会について討論を行う。

3. ゼミ計画

1. 卒論テーマについて	1. 卒論の目的
2. 卒論の目的 について	2. 先行研究について
3. データ収集の方法	3. 資料の整理
4. プレゼンテーションの意義	4. プレゼンテーション (なくなる仕事)
5. プレゼンテーション (新自由主義論)	5. プレゼンテーション (仮想通貨)
6. プレゼンテーション (資本主義とは)	6. プレゼンテーション (金融業の変化)
7. プレゼンテーション (グローバル化)	7. プレゼンテーション (キャッシュレス社会)
8. プレゼンテーション (格差社会)	8. プレゼンテーション (地球温暖化)
9. プレゼンテーション (自動車産業の未来)	9. プレゼンテーション (再生可能エネルギー)
10. プレゼンテーション (医療産業)	10. プレゼンテーション (人工知能社会)
11. プレゼンテーション (少子化問題)	11. プレゼンテーション (宇宙開発)
12. プレゼンテーション (家族の在り方)	12. プレゼンテーション (日本の原子力産業)
13. プレゼンテーション (社会の行き先)	13. 卒論の発表
14. 問題点の整理	14. 卒論の検討
15. 原稿の書き方	15. 卒論の確認

4. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する貢献度と提出された卒業研究成果物で評価する。

5. テキスト・参考文献

あとで指示する。

6. 受講上の留意事項

ゼミの自由な雰囲気壊さないように努力し、最低限度の礼儀やエチケットは忘れないこと。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準ずる程度の具体的な学習内容

指示する文献を次回講義までに読んでおくこと。

8. 到達目標

卒業研究成果物の作成と現在起こっている社会の変化について、十分な説明が出来ることを目標とする。